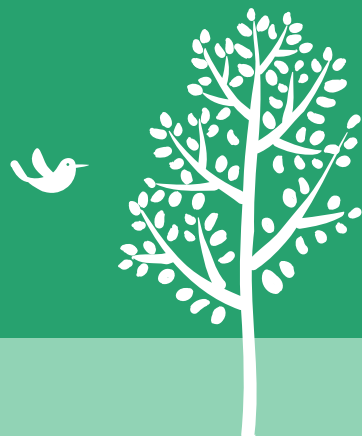


掛川市・袋井市 新病院建設たより



June 2009 Vol. 1

新病院建設に向け 新体制でスタートしました

本年4月1日、掛川市・袋井市新病院建設準備会※が、平成24年度末の新病院の開院に向けて、新たにスタートを切りました。

※準備会とは・・・

平成19年末に「新病院建設協議会」を設置し、約1年にわたり、掛川市と袋井市の病院統合について協議を進めてきました。

平成20年末に協議が終了し、その内容をまとめた基本構想書が両市長へ報告され、本年1月8日、両市は新病院の合同建設に合意しました。

「新病院建設準備会」は、その基本構想に基づき、新病院建設のための事前準備を行う組織としてこれまでの「協議会」に代わって、平成21年4月1日に設置されました。

なお、この組織は両市による一部事務組合の設立までとなります。



両市長あいさつ



掛川市長 松井三郎

近年の医療崩壊を目の当たりにし、この地域の医療を守るための新病院建設は、まさに現時点での最大の課題であります。

まず必要なことは、地域住民を含めた袋井市との信頼関係を構築することだと考えております。市民の皆様の不安を払拭し、お互いに心から信頼し合える関係づくりに全力で取り組んでまいります。

新病院が市民の皆様の力添えにより、将来にわたりこの地域の医療を守る拠点病院となりますよう、今後ともご支援とご協力をお願いいたします。



袋井市長 原田英之

本年1月の新病院建設に関する協定締結から5か月。新病院の建設に向けた新たなスタートを切ることができ、大変うれしく思います。

今後は平成24年度末の開院に向け、一つ一つ着実に進めてまいりたいと思います。

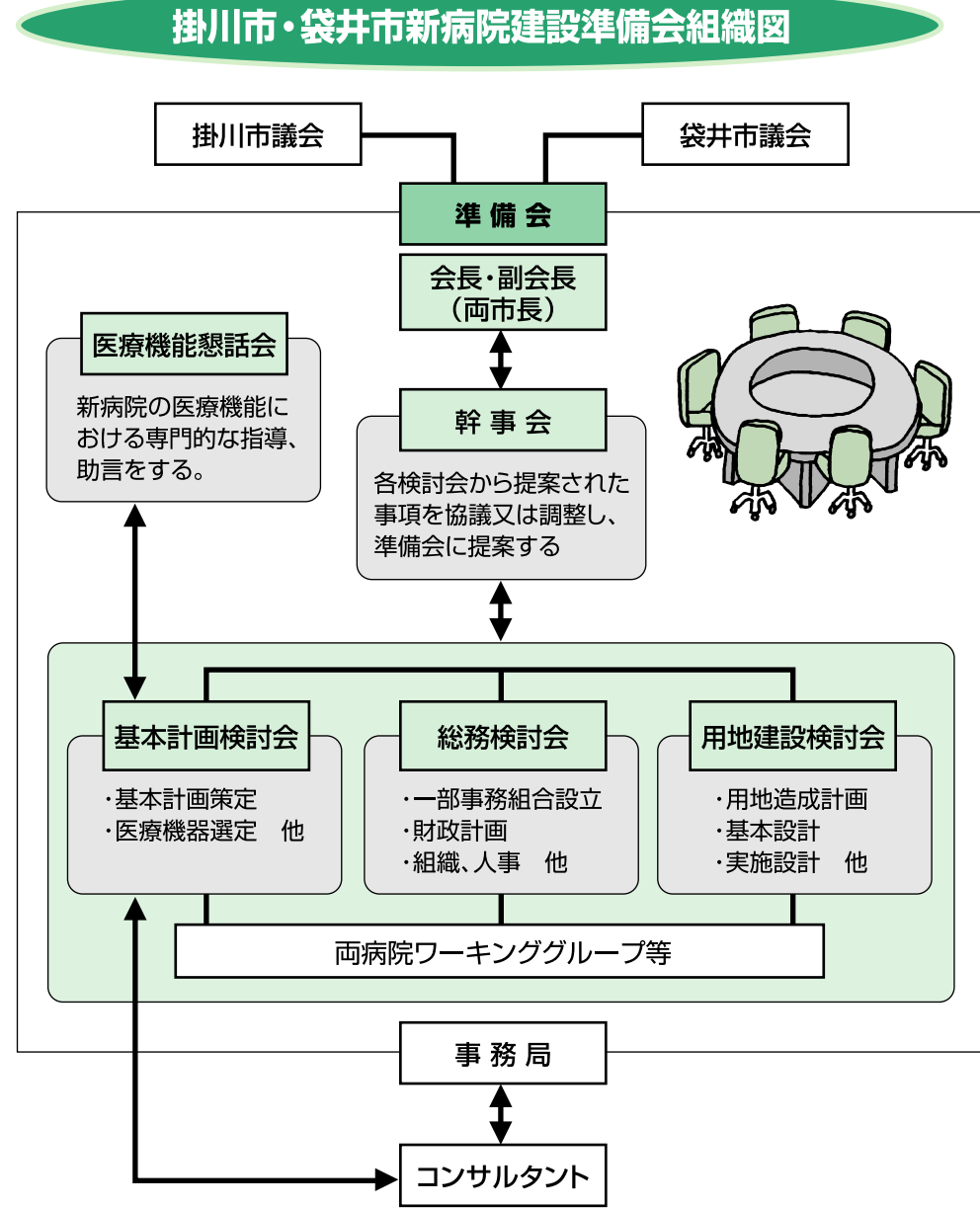
いっしょの困難はあろうかと思いますが、お互いが素晴らしい病院を作るといふ強い信念を持てば、必ず目的が達成でき、市民が安心、安全な医療体制のもとで生活できるものと確信しております。

今後皆様にご理解とご協力をいただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

新病院建設のスケジュールと事業概要

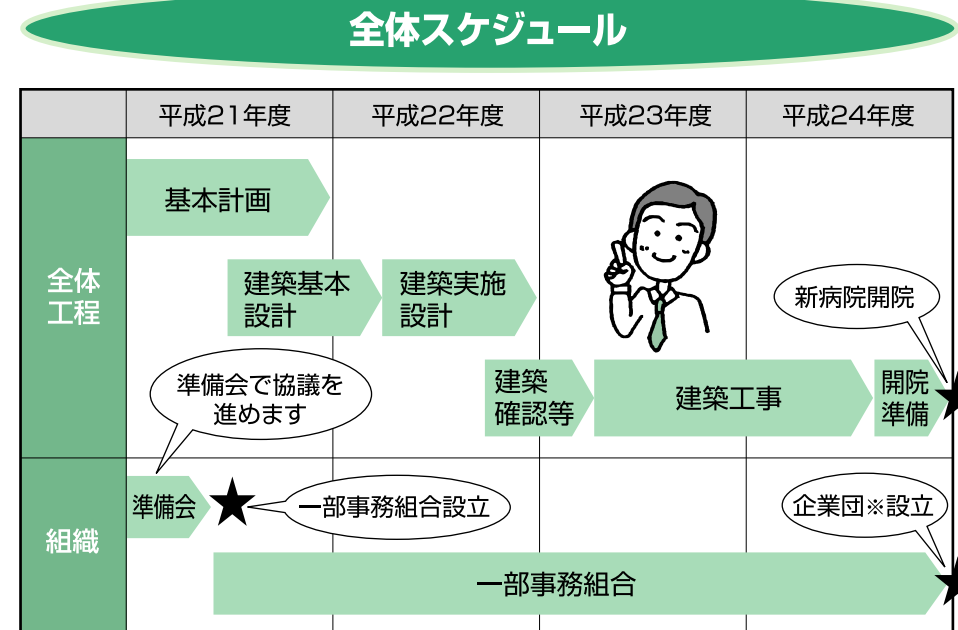
準備会組織

新病院建設準備会は、両市長による正副会長を筆頭に、幹事会、各種検討会から構成されています。また、基本計画の策定に関して指導や助言をしていただくため、地元医師会、大学関係者などの学識経験者からなる医療機能懇話会を設置します。



開院までのスケジュール

本年度（平成21年度）は、基本計画の策定、建築基本設計への着手とともに、建設母体となる一部事務組合の設立を予定しています。



※公立病院などの地方公営企業を一部事務組合で運営する団体を「企業団」といいます。新病院が開院し、病院運営が始まると同時に、「企業団」に移行する予定です。

本年度の事業概要

▼基本計画の策定

基本計画は、昨年度新病院建設協議会で策定された基本構想に基づいて、新病院の具体的な医療機能や施設配置を決めるものです。今後の建築設計を効率的に進める上でも、重要な役割を持っています。

基本計画の内容

- ① 全体計画
 - ② 部門別計画
 - ③ 医療機器整備計画
 - ④ 医療情報システム基本計画
 - ⑤ 物品物流システム基本計画
 - ⑥ 建設計画
 - ⑦ 設計と条件
 - ⑧ 財政計画
- 建築設計を行うときに、この条件に基づいて設計します。将来にわたり、新病院が効率的・効果的に運営できるよう計画を立てます。

基本計画の策定を支援する
コンサルタント業者が決まりました

公募型プロポーザル方式により
業者選定を行った結果、次のとおり
業者が決まりました。

■ アイテック株式会社
(東京都中央区)

基本計画が策定されるまで

基本計画プロジェクトチーム
両病院の各部門からの代表者により、基本計画の素案が作られます。

基本計画検討会
両病院長や各部長により協議・検討されます。

幹事会
協議・調整

正副会長（両市長）
決定

医療機能懇話会
指導・助言

▼一部事務組合の設置

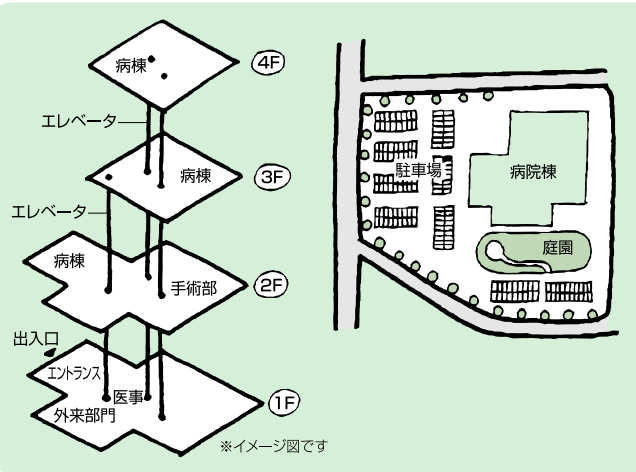
一部事務組合とは、異なる地方公共団体がその事務の一部を共同処理するため、議会の議決を経て県知事の許可により設置される特別地方公共団体です。現在、掛川市と袋井市は、新病院の建設という特定の事務を共同処理し、円滑に事業を進めるため一部事務組合の設置について協議を進めています。早期開院に向け、建設母体となる一部事務組合の設立が急がれています。今年の夏頃の設立に向けて準備しています。

役割

- 新病院の建設がスムーズに進むように、開院までの間、次の役割を担います。
- ① 基本計画の策定
 - ② 建築（基本・実施）設計
 - ③ 建築・外構工事

▼建築基本設計に着手

建築基本設計は、新病院の建物の構造のほか、手術室や病室などの構成、配置などを具体的に決めるものです。これらは、実際の建物を図や絵で表現されるので、新病院の建物を図や絵で表現することができます。なお、建築基本設計は、今年の秋頃に着手する予定です。



新病院の建設用地

土地開発公社による 土地取得

病院建設予定地である菖蒲ヶ池ゴルフ場は、掛川市土地開発公社が新病院用地を含むゴルフ場敷地全体を取得しました。

- 3月18日
土地売買契約、物件移転補償契約締結
- 5月21日
菖蒲ヶ池ゴルフ場閉場、解体作業開始
- 7月頃
補償物件撤去完了、所有権移転登記完了

今後は、両市と掛川市土地開発公社が連携して各種調査や土地利用計画の策定を行い、新病院建設用地を確定し造成準備を進めてまいります。



新病院建設予定地



今後の予定

本年度は造成準備のため

- 測量調査
- 環境調査
- 地質調査
- 土地利用計画
- アクセス計画
- 造成設計

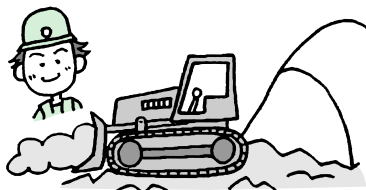
などの作業を実施します。

両市民に使いやすく、新病院にとって最適な造成計画とするため、両市で検討を進めていきます。

なお、造成工事は、これらの造成計画を策定した後に、平成22年度に着手する予定です。

皆様へお願い

作業期間中は、近隣住民の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



掛川市・袋井市新病院建設準備会

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1番地の1(掛川市役所内)

TEL0537-21-2130 FAX0537-21-1166

ホームページアドレス <http://www.shinbyoinkyogi.jp>

Eメールアドレス byoken@city.kakegawa.shizuoka.jp

平成21年6月1日発行

この広報紙は資源リサイクル推進のため、再生紙を利用しています。